

全国循環器撮影研究会だより No.1

発行所 全国循環器撮影研究会 〒980-8574 仙台市青葉区星陵町1-1

電話 022-717-7418, Fax:022-717-7430

全国循環器撮影研究会事務局移転のお知らせ

前会長、新会長の挨拶

前会長からの挨拶とお礼

前会長 天内 廣

横浜市立大学医学部附属市民総合医療センター 放射線部



2000年、2001年と時代の変革期にあたる2年間を会長として勤めさせていただきました。

第15回総会・学術研究発表会は、21世紀最初ということで記念大会を企画し155名の参加を得て盛會裏に閉幕することができました。「全循研は被ばく低減と安全管理につとめます」を宣言し、記念講演として新世紀に相応しい「ロボット犬アイボ」の開発の裏話をいただきました。会員発表ではデジタル動画ネットワークの話題を中心に活発な討論が交わされました。

この2年間を顧みますと、職場の激務と全循研の激務との狭間で私生活がほんのチョットだけあったといった感じで、事務局全員がまさに一丸となって頑張っておりました。そういった中で、本会にとって重要ないくつかの新しい取り組みを行って参りました。1つに本会理事会内に専門委員会を3つ発足したことであります。学術委員会、編集委員会、総会企画委員会がそれで、いずれも本会の中・長期的施策を立案する機関であります。2つ目に、多くの会員・非会員に本会を広く知っていただくことを目的に、インターネットに本会のホームページ(仮)を立ち上げたことであります。3つ目に、本会の機関誌を国会図書館に登録・納本したことであります。

早速、江口新会長のもとで学術委員会の提案による第1回放射線被ばく低減セミナー(仮題)が関西で開催されることとなりました。また、ホームページ(仮)も、本格的な運用に向かって検討することとなりました。

今後は、若くてエネルギッシュな江口新会長の舵取りのもとで、さらに活力と魅力ある研究会にパワーアップすることを祈念しております。

この2年間に旧事務局に寄せられたご厚情とご支援・ご協力に対しまして、衷心より感謝申し上げます。

全循研だよりの発刊にあたり

新会長 江口 陽一

山形大学医学部附属病院 放射線部



全循研会員の皆様、賛助会員の皆様、はじめまして。本年4月神戸市において開催されました第15回全国循環器撮影研究会総会におきまして会長を拝命することになりました江口陽一です。この大役は私にとりまして誠に光栄でありますと同時にその責任の重大さを改めて痛感致しております。浅学非才の身ではございますが研究会発展のために微力を尽くす所存です。何卒天内前会長と同様、皆様方の格別のご指導とご支援を賜りますよう謹んでお願い申し上げます。

さて、この“全循研だより”は、前事務局のご努力で、昨年12月に開設していただきました全循研のホームページの情報の一部と事務局からの連絡事項を会員の皆様方にお送りする目的で発刊する運びとなりました。年に4回(春夏秋冬、3月、6月、9月、12月)お送りする予定であります。自前のプリンタによる印刷ですが、心を込めて作成しておりますので、ご拝読をお願い致します。

平成13年度の事業で力を入れているひとつに、ホームページとe-mailの運用があります。事務局といたしましては、会員の皆様にとってさらにメリットの多い研究会にすべく、ホームページとe-mailによる情報提供の充実を検討しているところです。インターネット(ホームページとe-mail)は最新の情報をリアルタイムでご提供できる便利なものです。会員の皆様のe-mail addressは、現在100名ほど登録いただいておりますが、まだ登録されていない会員の皆様も多いと考えe-mail addressの登録をお願いする用紙を同封させていただきました。すでに登録されている会員の皆様も、ご面倒でももう一度ご記入ご返送をお願い致します。

もうひとつ今年度の新しい事業として、本研究会主催の被ばく管理セミナー(仮題)を、秋に関西循環器撮影研究会で開催す

る予定であります。近年、IVR の件数の増加と IVR 手技の高度化により、長時間の透視、多数回の撮影が行われるようになりました。そのため、患者様と術者の被ばく線量増加が問題になっています。特に患者様では IVR 後に急性の放射線障害（確定的影響）が発生する例があります。このような背景から、本研究会のスローガンを“全循研は被ばく低減と安全管理につとめます”とし、学術委員長の中澤靖夫氏にセミナーを立案していただきました。来年度以降、各地で開催していく予定であります。

これらの事業は到底、事務局だけの努力では達成できるものではありません。なにとぞ会員の皆様、賛助会員の皆様、理事・監事の皆様、それに推進母体研究会のご協力を伏してお願い申し上げます。

末筆ながら、前会長の天内 廣氏、前事務局長の佐藤次男氏、前事務局の塚本篤子氏、景山貴洋氏、菊地達也氏、今関雅晴氏の 2 年間の激務に対してこころより感謝申し上げます。

前事務局長、新事務局長の挨拶

全循研事務局長の 2 年間の役務を終えて

前事務局長 佐藤 次男
千葉県循環器病センター



全循研会員の皆様、こんにちは。前事務局長の佐藤です。皆様のご協力によってこの 2 年間、私たち前事務局の役務を無事務めることができました。会員諸氏および会員施設のスタッフの皆様、実行委員会を担当していただいた循環器画像技術研究会・関西循環器撮影研究会の皆様、理事・監事の皆様、各推進母体研究会、広告・賛助にご協力いただいた工業界の方々、そして事務局運営にご助言賜った前々事務局の新開会長・梅津事務局長はじめ九州の事務局の皆様にご心より感謝申し上げます。

本会は、その名に示す通り、循環器撮影およびその関連技術に関連する研究発表、知識の交換並びに会員の資質の向上と相互の親睦をはかることを目的に、1. 学術研究発表会、講演会の開催、2. 機関誌の発行、3. その他本会の目的達成必要なこと。を主たる事業としております。私たち前事務局はこの事業を粛々と執行することが課せられた役務であると捉え、日常業務を抱えながらこの仕事に没頭した 2 年間ありがとうございました。それでも皆様のご期待に添えられたかどうか自問しつつ、大任を終えた今、安堵感と充実感をかみしめているところでございます。

顧みて、本会発足以来の話題を一般研究・画題研究の足跡から拾ってみると、発足当初は、アンギオ装置の管理（I.I.、モニター）、自現機管理（シネフィルム・処理条件）、シネプロジェクト管理など、日常業務に密接に関連するテーマについての研究が行われました。これは昭和 50 年代に本邦に 35mm シネカメラを搭載した装置が急速に導入され、それをどう扱うか真剣に悩んだ時期であり、各地において「研究会」が生まれました。ちなみに本会はその研究会のリーダーたちが立ち上げた研究会であります。その後、装置の QC と並行しながら、IVR の飛躍的な普及に伴い、撮影技術、デジタル収集、被曝管理、などに話題が移り、昨今のトレンドは QCA、動画ネットワークとフラットパネルであります。装置・IVR 手技・デバイス・器具の進歩により、循環器撮影は飛躍的に進歩していますが、しかしネックは「被曝」であります。撮影（収集）コマ数も当初最大 150F あるいは 90F で行った時代から最近では 30F・15F へと減少してきたとは云え、IVR・Ablation などの普及により透視時間が増え、大きな問題であります。被曝の問題をどうクリアしていくかが循環器撮影を遂行していく上で大きな課題です。私たちはその道の専門家であり、課せられた責務も重大であります。

そこで、今年度は本会主催による「被曝管理セミナー」が開催されることになりました。この事業は初めての試みであります。是非会員諸氏のご協力を賜り、成功させていただきたいと思っております。今後、本会新事務局は、江口陽一会長・佐藤州彦事務局長を中心とする若いスタッフの陣容によって運営されます。21 世紀の到来に相応しいネットを駆使した、斬新な運営がなされるものと期待しております。会員諸氏には、引き続き新スタッフに対しても暖かいご支援とご協力を賜りますよう切にお願いいたします、ご挨拶に代えさせていただきます。ありがとうございました。

事務局長として

新事務局長 佐藤 州彦
町立大河原病院



この度、全循研事務局長という大変な仕事をおおせつかりました東北循環器撮影研究会の佐藤州彦です。先日は、わざわざ山形まで足を運んでいただき事務局の引き継ぎを行いました。天内前会長、佐藤次男前事務局長他、事務局スタッフの皆さまのパワー溢れる手際の良さには大いに感服させられつつも、我々、東北循環器撮影研究会としても歴代の事務局の仕事ぶりに少しでも近づけるように頑張らなければと、身の引き締まる思いがしました。さて私事ですが、この 4 月、20 年余り住み慣れた東北大学医学部附属病院を後にして、新しい職場へと移動しました。来年 8 月開院予定で現在建家の建築真っ最中、新しい環境に慣れるのに四苦八苦しており、

今はパソコンのバの字もないような所で、他の事務局スタッフから一人離れて働いていることもあり、なかなか思うように動けず、皆の足を引っ張ることも多い状態です。このように事務局の職務を遂行するには、なかなかきびしい環境にありますが、他のスタッフの絶大なバックアップに支えられながらも、江口新会長を盛り立てて、全循研の事務局として大いに頑張りたいと思います。皆さま、何卒ご助力、ご教唆の程宜しくお願いいたします。

全国循環器撮影研究会事務局紹介

会 長 江口 陽一

(えぐち よういち)

昭和30年生まれの46歳、山形県出身、身長：175cm、体重：64kg、血液型：O型、星座：牡羊座です。一番の趣味は、星を見て写真を撮ることですが、最近なかなか暇がなく星を見に行くことができないのが現状です。ただ幸いに、私の自宅（山形県上市、山形市の南隣）は蔵王山が見える上市の小高い山の斜面に建っているため、部屋の電気を消せば居間と寝室、それに浴室から、初夏には蔵王山から昇る夏の天の川、初冬にはオリオン座やスバルなど四季折々の星座を見ることができます。



二番目の趣味はひなびた温泉に行くことです。東北にはいい温泉がたくさんあります。全循研だよりでご紹介したいところですが、編集局長が載せてくれないでしょう。

三番目は野山にハイキングに行くことですが、最近は土日に予定が入ることが多くなり思うようになりません。山形は冬には雪が降り寒く、夏は日本海気候で蒸暑いところですが、自然に恵まれ四季折々楽しむことができます。

最近、気になっていることはもちろん全循研の運営です。それから庭の芝生が雑草に負けていることです。長年お付き合いのある車のセールスマン（スバルの佐藤さん）には、『江口さんこれが芝生ですか？』とされています。

事務局長 佐藤 州彦

(さとう くにひこ)

昭和32年2月11日生まれの44歳、宮城県出身。今年4月に、20年余り勤務した東北大学病院を巣立ち、来年8月開院予定の新病院へと移動。新天地での生活でアップ²中。毎日、片道30kmを車で通勤。現在は新緑のなかを蔵王の山並みを眺めながらのドライブだが、冬場は結構疲れそう…。趣味は、山歩き・日曜大工（もといトレッキング、DIY）です。



編集局長 岡田 明男

(おかだ あきお)

昭和33年10月10日生まれ42歳、天秤座、B型、宮城県出身。編集局を担当することになりました岡田です。夏は登山（百名山制覇目標）冬はスキーと四季折々の自然を楽しむことが趣味です。今回、編集局という大



役を会長からおおせつかりましたが、いままでにこのような編集に携わった事が無いので会員の皆様には、ご迷惑をお掛けするかもしれません。江口会長の元で頑張りたいと思いますので、会員の皆様方の御協力宜しくお願い致します。年1回発行しています全循研会誌の投稿論文、自由投稿など募集致しておりますので、会員の皆様方の執筆投稿よろしくお願い致します。

会計担当 梁川 功

(やながわ いさお)

昭和31年5月4日生まれの45歳、宮城県出身。以前は理事として会議、総会、懇親会と出席させていただいておりましたが、ここ数年はとんとご無沙汰しており、申し訳無く思っております。私の日課として毎日の飲酒は欠かした事はありません。皆さんから集めた会費を酒代にまわさない様、努力致します。皆さん、私を信じて会費を納入して下さい。今後ともよろしくお願い致します。



会員担当 石屋 博樹

(いしや ひろき)

昭和44年4月2日生まれの32歳、青森県出身。会員担当を任されたからには、なんとか新入会員を増やし、会費納入率向上をめざして、頑張りたいと思いますのでどうぞよろしくお願い致します。



記録担当 中田 充

(なかだ みつる)

昭和49年5月28日生まれの27歳、石川県出身。事務局員最年少ということで、若さとバスケで鍛えた巧みなフットワークを生かして頑張りたいと思います。皆さん、どうぞよろしくお願い致します。



情報担当 佐藤 俊光

(さとう としみつ)

昭和43年6月14日生まれ32歳、双子座、山形県出身。情報担当をすることになりました佐藤俊光です。家族構成は妻が1人、子が2人あります。山形大学に勤務しまして早10数年が過ぎました。今回、情報担当という役を会長よりおおせつかりました。情報担当はHPや電子メールの配信が主な仕事です。もしかすると皆様と一番身近な存在ではないでしょうか。実は私、HPや電子メールに精



通しているわけではありません。しかしながら、皆様のお力 ぞよろしくお願ひします。

添えでなんとかがんばって行きたいと思っております。どう

平成 13 年度 全循研事務局役員名簿

担当&氏名	勤務先&所属	郵便番号&住所	電話番号&Fax	電子メール
会長 江口 陽一	山形大学医学部附属病院 放射線部	990-9585 山形県山形市飯田西 2-2-2	023-635-5118 023-628-5799	yeguchi@med.id.yamagata-u.ac.jp (施設)
事務局長 佐藤 州彦	町立大河原病院 放射線科	989-1201 宮城県柴田郡大河原町大谷末広 50	0224-52-1725 0224-52-5099	kunisans@theia.ocn.ne.jp (個人)
編集局長 岡田 明男	山形大学医学部附属病院 放射線部	990-9585 山形県山形市飯田西 2-2-2	023-635-5118 023-628-5799	aokada@med.id.yamagata-u.ac.jp (施設)
会計担当 梁川 功	東北大学医学部附属病院 放射線部	990-8574 宮城県仙台市青葉区星陵町 1-1	022-717-7418 022-717-7430	yanagawa@hosp.tohoku.ac.jp (施設)
記録担当 石屋 博樹	東北大学医学部附属病院 放射線部	990-8574 宮城県仙台市青葉区星陵町 1-1	022-717-7418 022-717-7430	ishiya@hosp.tohoku.ac.jp (施設)
記録担当 中田 充	東北大学医学部附属病院 放射線部	990-8574 宮城県仙台市青葉区星陵町 1-1	022-717-7418 022-717-7430	nakada@hosp.tohoku.ac.jp (施設)
情報担当 佐藤 俊光	山形大学医学部附属病院 放射線部	990-9585 山形県山形市飯田西 2-2-2	023-635-5118 023-628-5799	tssato@med.id.yamagata-u.ac.jp (施設)

第 15 回全国循環器撮影研究会総会と

懇親会の報告

1. 第 15 回全国循環器撮影研究会総会の報告

第 15 回全国循環器撮影研究会総会の詳細は、全国循環器撮影研究会誌 No.14 に掲載されるので簡単に報告する。

第 15 回全国循環器撮影研究会総会(第 15 回記念大会)は、平成 13 年 4 月 7 日(土)に関西循環器撮影研究会(実行委員長:横山博典)のお世話で、神戸風月堂ゴール劇場で開催された。参加人数は 155 名であった。

15 周年記念講演は「ロボット犬アイボの開発の裏話」と題して、ソニー(株)エンターテインメントロボットカンパニーデュピュティブレジデント 大槻 正先生にご講演いただいた。内容は NHK のテレビ番組のプロジェクト X を思わせるもので、会社の会議では

予定台数を売ることができなければ、ロボット開発をあきらめるとまで明言して販売したとお話された。講演の後半にはロボット犬アイボの実演も行われ愛らしいアイボの動きに会場は沸いていた。



大槻 正先生とアイボ

課題研究は下記の 2 題が報告された。

「デジタル動画ネットワークの現状と問題点」

主任研究員 荒居広明(財 心臓血管研究所附属病院)

「QCA の精度を左右する要因と基本技術」

主任研究員 景山貴洋(千葉県循環器病センター)

「デジタル動画ネットワークの現状と問題点」では、DICOM

規格や LAN の特徴などのネットワークの基本的知識から各メーカーの装置の特徴まで詳細に報告された。

「QCA の精度を左右する要因と基本技術」では、I.I. の歪、キャリブレーション、画像処理、画像のマトリックス数、撮影フレーム数、撮影条件など QCA を左右する因子を調べ、測定精度を上げる方法を検討している。

シンポジウムは「デジタルシネネットワーク技術の現状と将来展望」というテーマで行われた。座長は上野孝志(財・心臓血管研究所附属病院)と横山博典(国立循環器病センター)が務めた。演者はコーザ側から 4 名、メーカー側から 4 名の合計 8 名であった。質疑応答は活発に行われ、いろいろな質問意見が出て白熱した討論がなされた。動画ネットワークには多くの検討すべき課題があることを窺わせた。

総会では天内会長の挨拶後、島崎俊朗(大阪府立病院)が議長に選出され、平成 12 年度の会務報告、決算報告、監査報告、平成 13 年度活動計画、予算案、次期会長・監事の選出、次期事務局長・理事の推薦の順序で進行した。平成 13 年度の活動計画案と役員を紹介する。

平成 13 年度活動計画

- (1) 全国循環器撮影研究会総会・学術研究発表会の開催 (2001.4.7)
- (2) 会誌第 14 巻および会員名簿の発行
発刊予定:平成 13 年 12 月 1 日
- (3) 一般研究および課題研究への助成
 - 1) 一般研究助成 ... 応募なし
 - 2) 課題研究助成 ... 申請 1 題
- (4) 推進母体研究会への講師推薦・派遣
- (5) 被ばく管理セミナーの開催

「循環器撮影 (IVR) における被曝線量の全国調査」
主任研究員:弘前大学医学部附属病院 木村 均
(東北循環器撮影研究会)

本年度の被ばく管理セミナー（仮題）は今年秋、関西循環器撮影研究会で開催する。

(6) ホームページを活用した活動の推進および会員サービス



平成13年度役員

会長：江口陽一（東北循環器撮影研究会）

監事：新谷光夫（北陸アンギオ研究会）

川中秀文（九州循環器撮影研究会）

常任理事：東北循環器撮影研究会

佐々木 正寿（編集委員長）

循環器画像技術研究会

中澤 靖夫（学術委員長）

関西循環器撮影研究会

安永 国広（総企画委員長）

理事：北海道シネ撮影技術研究会

井上 勝広（総企画委員）

新潟アンギオ画像研究会

吉村 秀太郎（学術委員）

循環器I・S研究会

齋藤 岩男（総企画委員）

東海循環器画像研究会

可児 敏廣（学術委員）

北陸アンギオ研究会

米沢 正雄（編集委員）

岡山県アンギオ研究会

横田 忍（総企画委員）

愛媛アンギオ研究会

成松 孝樹（編集委員）

九州循環器撮影研究会

梅津 芳幸（学術委員）

事務局長：佐藤彦彦（東北循環器撮影研究会）

編集局長：岡田明男（東北循環器撮影研究会）

2. 懇親会報告

懇親会は参加人数 72 名と例年にない多さで大盛況であった。各推進母体研究会より持ち寄られたお国自慢の美酒が花を添えた。

第 15 回全国循環器撮影研究会総会と懇親会報告とも成功の裏に終了したのも、実行委員会（関西循環器撮影研究会）のご努力の賜物と感じ入りました。（江口 陽一）

事務局引継ぎの報告

平成13年4月28日（土）午後2時より、山形県西村山郡西川町にある「出羽屋」にて全国循環器撮影研究会事務局の引き継ぎ会議が開催されました。

天内前会長、江口新会長の挨拶、次いで新旧役員の自己紹介が行われた後、天内前会長によって、現在の研究会の現状、活動内容、今後の問題点等について総括して頂きました。また、佐藤次男前事務局長には、各担当別年間タイムスケジュールを作成して頂き、事務局の活動内容を事細かに引き継い

て頂きました。その後、各部個別に引き継ぎが行われ、最後に引き継ぎ書類、物品の確認、署名が行われて引き継ぎ会議が閉会されました。

最後になりましたが、天内前会長をはじめ、前事務局の方々にはお忙しいところ、遠路遥々東北まで起し頂き、詳細に説明して頂き誠にありがとうございました。（中田 充）



霊峰「月山」にて

事務局から

? 会員担当より

1. メールアドレス調査へのご協力

全循研では会員へのリアルタイムの情報提供を目的として、e-mail address 調査を行っております。e-mail address をお持ちの方は、氏名・施設名・所属（部・科名）・会員番号・e-mail address を列記し、全循研事務局までメール、または FAX にてお知らせください。

また、e-mail address をお持ちでない方も、台帳チェックのため同様に、氏名・施設名・所属（部・科名）・会員番号等 を列記し、全循研事務局までメール、または FAX にてお知らせください。（用紙は同封いたしました）

2. 全循研会費の納入と新入会者勧誘のお願い

本会会費につきましては、会誌に振り込み用紙を綴じ込み、納入をお願いしているところではありますが、4月28日現在、今年度（平成13年度）の会費納入率は38.3%と非常に低率となっております。そこで今回改めて振込用紙を同封いたしましたので、ご確認の上、今年度会費（3,000円）の納入をお願いいたします。会務の円滑な運営を行うため、ご理解賜り、何卒ご協力の程よろしくお願いいたします。また、会員台帳のチェックも併せて行いたく、振込用紙に郵便番号・住所・施設名・氏名・電話番号・本会会員番号（送付封筒宛名に記載してあります）・所属研究会名・e-mail address の記載もお願いいたします。さらに、本会を活性化していくために、新入会の方を募集いたしております。恐縮ですが会誌第13巻143ページに入会案内をいたしておりますので、新入会者の勧誘も重ねてお願いいたします。（但し、郵送先は下記の事務局です）また、全循研ホームページにも入会申し込み方法を掲載してありますのでご利用下さい。

3. 再入会員のお願い

以前入会されていて、平成 12 年度分以降の会費を納入されていない方は、今年度の会員資格を失います。2 年分の会費（平成 12、13 年度分）6,000 円を納入いただければ再入会できます。再入会方法は、今回同封致しました振込用紙に、上記記入事項を書いて、事務局宛てに振込んで下さい。

*尚、本状は 4 月 28 日現在の会費納入データをもとに作成しておりますので、行き違いなどございましたらお詫び申し上げます。

お問い合わせ先：全国循環器撮影研究会 事務局

〒980-8574

宮城県仙台市青葉区星陵町 1-1

東北大学医学部附属病院 放射線部

事務局会員担当：石屋 博樹

tel:022-717-7418、Fax:022-717-7430

e-mail:zenjunkun@yahoo.co.jp

http://zen-junken.hoops.ne.jp/

(石屋 博樹)

? 情報担当より

現在情報部では、HP による研究会活動の公開、電子メールによる会員への迅速な情報提供に努めています。現在 HP、電子メールにより行われている事の主なものを以下に記しました。

	項目	HP	メール
1	全循研主催の研究会、セミナー等のお知らせ		
2	全循研誌の目次		
3	全循研の紹介と入会方法		
4	全循研にて開発されたソフトのダウンロード		
5	全循研課題研究の報告		
6	各推進母体の研究会、セミナー等のお知らせ		
7	各推進母体会誌の目次		
8	BBS (質問、情報交換のコーナー)		
9	関連 HP のリンク		

<http://zen-junken.hoops.ne.jp>

1. HP 掲載目次

() 内は HP へ掲載した日付け

- 1) 関西西循環器研究会誌 No.9 の発刊のお知らせと目次 (H13.5.15)
- 2) 第 71 回関西循環器撮影研究会開催のご案内 (H13.5.25)
- 3) 関西循環器撮影研究会事務局からのお知らせ (H13.5.25)
- 4) 循環器画像技術研究会 第 175 回定例会開催のご案内 (H13.4.28)
- 5) 循環器画像技術研究会 第 176 回定例会開催のご案内 (H13.5.25)
- 6) AAPM より REPORT NO.70 の発刊のお知らせと目次

2. 内容

1) 関西西循環器研究会誌 No.9 の発刊のお知らせと目次

- 巻頭言 21 世紀を迎えるにあたり ----- 1
- 市立岸和田市民病院 安永 国広
- お知らせ 第 15 回全国循環器撮影研究会総会の案内----- 2
- 平成 12 年度関西西循環器撮影研究会特別講演会
- テーマ
- 『診療録等の電子媒体による保存の現状』
- 特別講演
- 『電子カルテの目標と問題点およびその解決方法について』 ----- 4
- 大阪大学医学部附属病院医療情報部 松村 泰志
- 座長集約
- 和歌山県立医科大学先端医学研究所医学医療情報研究部病院
- 入江 真行
- シンポジウム ----- 15
1. おやっ？うごいている！ - PACS・電子カルテ統合システム
利用施設として
- 島根県立中央病院 中島 康博
2. これからの総合画像情報システム
- コニカ株式会社 内匠屋 隆
3. PACS における画像管理
- 市立泉佐野病院 小西 康彦
- 座長集約
- 大阪市立総合医療センター 福西 康修
- 定例研究会講演
1. 心臓血管外科領域におけるシーメンス CT 最新技術 --- 26
- シーメンス旭メディテック株式会社 北野 浩一
2. Rotablator について ----- 31
- Boston Scientific Japan 株式会社 田村 秀樹、柿本 佳久
3. 直接変換型平面検出器の開発状況と血管撮影への応用 35
- 東芝メディカル株式会社 村本 政彦
4. GE Flat Panel Technology - 心臓血管撮影装置への応用 ----- 41
- GE 横河メディカルシステム株式会社 入内島 誠
5. コーンビーム CT の開発 - 真の 3 次元 CT をめざして ----- 43
- ソニー株式会社 松下 聡
6. MDCT におけるカーディックモーションアーチファクト
に影響を与える要因の検討 ----- 45
- 循環器画像技術研究会 昭和大学病院放射線部 加藤 京一
追悼記
- 故 畑中基晴君を偲ぶ ----- 47
- 市立岸和田市民病院 安永 国広
- 施設訪問
- 近畿大学医学部奈良病院 ----- 48
- 天理よろず相談所病院 多田 勝紀
- 関西西循環器撮影研究会組織図 ----- 50
- 関西西循環器撮影研究会会則 ----- 51
- 編集後記 ----- 52

2) 第 71 回関西循環器撮影研究会開催のご案内

千葉県循環器病センター 景山 貴洋君

日 時 平成 13 年 5 月 26 日 (土) 14:00 ~ 17:00

内容(4) 17:20 ~ 17:40

場 所 科学技術センター4F

新製品紹介

(地下鉄四つ橋線本町駅下車北へ徒歩 3 分)

画像ネットワークシステム グッドネット グッドマン

講演 1 「これからの画像情報ネットワークについて」

5) 循環器画像技術研究会 第 176 回定例会開催のご案内

東芝メディカル株式会社

日 時 平成 13 年 6 月 16 日 (土) 15:00 ~ 18:00

関西支社営業技術部 古川 善之氏

場 所 NTT 東日本 関東病院 4 階会議室

講演 2 「PHILIPS・3D/RA の臨床応用」

東京都東五反田 5-9-22

フィリップスメディカルシステムズ株式会社

最寄駅 五反田駅

営業部営業技術課課長 成田 裕亮氏

(JR 山手線、東急池上線、都営浅草線)

[シリーズ勉強会:電気生理学的検査について]

参加費 会員:500 円 非会員:1000 円

日本光電株式会社 佐藤 孝幸氏

(随時会員登録受付:年会費 2000 円)

司会 佐藤 公一 君

3) 関西循環器撮影研究会事務局からのお知らせ

内容(1) 15:00 ~ 15:30

現在、関循研ではサマーセミナーの準備に取り組んでいます。今年のサマーセミナーも脳血管の模型作成を予定しています。昨年は、時間内に完成できず、宿題になった会員もおられました。そこで今年は 7 月 14 日(土)AM9:00 より 15 日(日)PM2:00 まで、すべて模型作成のための時間としました。昨年できなかった外頸動脈の作成まで、是非チャレンジして下さい。

テクニカルディスカッション(症例呈示)

埼玉県立小児医療センター - - - - 君

【サマーセミナーの予定】

内容(2) 15:30 ~ 16:30

日 時:平成 13 年 7 月 14 日(土)AM9:00(随時受付) ~ 15 日 PM2:00

講演 成人になった先天性心疾患の現状

千葉県循環器病センター 丹羽公一郎 先生

場 所:神戸六甲シェーリング研修所

内容(3) 16:40 ~ 17:30

教育講座 その 2 .

先天性心疾患

榊原記念病院 高梨 昇 君

費 用:15000 円

循研に対する問い合わせ

5 月 26 日の研究会にて申し込みいただいても結構です。

循環器画像技術研究会事務局

昭和大学病院 放射線部

藤井 一輝

定員になり次第締め切ります。

電話 03-3784-8461 FAX 03-3784-8404

(事務局) 大阪府立母子保健総合医療センター放射線科 (担当) 田辺 (TEL)0725-56-1220

e-mail: fujiiik@med.showa-u.ac.jp

4) 循環器画像技術研究会 第 175 回定例会開催のご案内

のお知らせと目次

日 時 平成 13 年 5 月 12 日 (土) 15:00 ~ 18:00

AAPM (American Association of Physicists in Medicine)

場 所 NTT 東日本関東病院 4 階会議室

REPORT NO.70

東京都東五反田 5-9-22

Cardiac Catherization Equipment Performance

最寄駅 五反田駅

Report of Task Group #70

(JR 山手線、東急池上線、都営浅草線)

Diagnostic X-ray Imaging Committee

参加費 会員:500 円 非会員:1000 円

TABLE OF CONTENTS

(随時会員登録受付:年会費 2000 円)

PREFACE ----- v

司会 高梨 昇君

I. DISCUSSION OF CARDIAC CATH LAB EQUIPMENT ----- 1

内容(1) 15:00 ~ 15:30

1. X-ray Generators ----- 1

テクニカルディスカッション(症例呈示)

2. X-ray Tube Assembly ----- 3

横浜市立大学医学部附属市民総合医療センター --- 君

3. Tube Stand ----- 5

内容(2) 15:30 ~ 16:30

4. Patient Table ----- 6

講演

5. Control Console ----- 7

医療スタッフの安全意識構築とその組織的取り組みについて
横浜市立大学医学部附属市民総合医療センター 天内 廣君

6. Image Intensifier ----- 8

内容(3) 16:40 ~ 17:20

7. Grids ----- 10

教育講座 その 2 .

8. Television System ----- 11

IVR 検査に放射線技師はどのように携わっていくべきか

9. Cine Lenses and Apertures ----- 12

10A. Cine Fluoroscopic Cameras ----- 14

10B. Image Framing ----- 15

11. Digital Imaging Systems ----- 16

12. Digital Image Storage, Retrieval, and Display ----- 16

13. Cine Film Imaging ----- 17

II. PHYSICS TEST PROCEDURES FOR CARDIAC CATH LABS ----- 18

1. Beam Quality ----- 18

2. Fluoroscopic X-ray Radiation Output ----- 21

3. Typical Patient Entrance Skin Exposure Rates (ESER) ----- 21

4. Maximum Fluoroscopic Entrance Skin Exposure Rate (MFESER) ----- 23

5. Input Radiation into the Image Intensifier (IIIR) ----- 24

6. kVp Calibration Accuracy ----- 25

7. High Contrast Spatial Resolution ----- 26

8. Low Contrast Discrimination ----- 27

9. Cine Film Sensitometry ----- 28

10. Image Intensifier Contrast Ratio (Rc) ----- 28

11. Veiling Glare (VG) ----- 29

12. X-ray Tube Focal Spot Size ----- 30

13. Distortion ----- 31

14. Typical Cine Film Density ----- 32

15. Cine Frame Rate and Pulse Width Accuracy: Cine and Pulsed Fluoroscopy ----- 32

16. Automatic Brightness Control (ABC) Operation --- 34

17. Field-of-View (FoV) Accuracy and Cine Framing -- 35

18. X-ray Beam Collimation ----- 36

19. Collimator Tracking Test ----- 36

20. Minimum Source-to-Skin Distance (SSD) ----- 37

21. Safety Interlock Tests ----- 37

22. Temporal Spatial Resolution ----- 38

23. Scattered Radiation Levels and Radiation Protection ----- 39

24. Clinical Radiation Exposure Monitors ----- 39

25. Electrical and Mechanical Safety ----- 40

26. Other Checklist Items ----- 40

III. RADIATION MEASUREMENTS ----- 41

1. Overview of Clinical Cardiac Procedures ----- 41

2. Published Radiation Doses from Fluoroscopy and Cine Imaging ----- 42

3. Phantom Radiation Dose Survey ----- 46

4. Scattered Radiation Levels ----- 50

5. Radiation Safety Procedures ----- 51

6. Biological Risks Associated with Radiation Exposure ----- 52

A. Cancer Risks ----- 53

B. Skin and Mucosa ----- 53

C. Heart and Lungs ----- 54

D. Breasts ----- 54

E. Thyroid ----- 55

F. Eyes ----- 55

G. Hematopoietics and Gonads ----- 55

H. Summary ----- 56

CARDIAC CATHETERIZATION REFERENCES ----- 56

OTHER USEFUL REFERENCE MATERIAL ----- 66

購入先 : <http://www.medicalphysics.org>

3 . HP 内の BBS(掲示板、情報交換) への書き込み
質問 (2001/04/26)

画像電子保存について

当院の装置がシネレスとなります。しかし、まだ RIS は立ち上がっておらず、HIS も一部しか稼動しておりません。厚生省の言う画像電子保存の病院管理規程を作った管理運用ができない状況です。画像電子保存の運用管理規程なしでのスタートとなりますが、保険点数をとるための基準や画像保存のための基準など、法令をクリアする方法を御指導いただけないでしょうか。よろしく願い申し上げます。

書き込み

花山 正行氏 (大阪大学医学部附属病院 放射線部)
いい加減なお答えができませんので JSRT (日本放射線技術学会) の世話をさせていただいてる関係上、このことについて、JSRT の医療情報システム小委員会の松井先生 (KONICA) に相談させて頂きました。

返事の全文をお送りいたしますので参考にいただければ幸いです。

松井先生の返事ではメ - ルだけではなかなか説明難しいようです。何かの機会が在れば直接お話していただけるようです。以下全文です。

運用管理規定と HIS や RIS が在るかどうかは関係ないと思います。どの様な状況でも電子保存をするならば運用管理規定は必須であるというのが今回の通知のポイントと思います。運用管理規定がなければ電子保存は認めないと言うことです。運用管理規定をきちっと作りそれに則って十分な説明責任が出来れば自己責任において電子保管をしても良いですよと言うことだと思えますが。

また保険点数ですが将来は別にして現在は電子保存と新たな加算を求める保険点数とは直接関係無いと考えるべきです。私の理解はデジタル加算はハッキリ条文に在るモノが認められていることだと思えます。勿論正確には厚生労働省に問い合わせ頂くのが良いかと思えますが、これらの質問はメールだけではなかなか説明難しいところのように思えます。何かの機会が在れば直接お話をさせて頂くのも良いのではと思います。

松井美穂 Mitate Matsui (KONICA)

以上全文です。

花山 正行 (Masayuki Hanayama)
大阪大学医学部附属病院 放射線部

〒565 - 0871 吹田市山田丘 2 - 15
 TEL 06-6879-6812 FAX 06-6879-6814
 E-mail hanayama@hp-rad.med.osaka-u.ac.jp

このように何か質問や疑問があれば、HP の掲示板 (BBS) へ書き込んで下さい。また、このような書き込みに対するアドバイス、コメントがある場合、積極的に書き込みをお願いします。もし、書き込みを取り消したい場合は全循研事務局情報担当佐藤俊光 (tssato@med.id.yamagata-u.ac.jp) までご連絡下さい。

4 . これから予定している主な企画

1) HP 講座

循環器撮影領域における撮影技術や X 線装置、IVR、機器管理等の講座を HP 上に開設します。

2) 会誌バックナンバーのダウンロード

全循研会誌を PDF ファイル化し HP よりダウンロード可能とします。現在、過去 5 年間のファイル化を目標としています。

3) メンバー ID、パスワード発行

HP 内で、メンバー ID、パスワードを入力しないと閲覧できないページ、コーナーを作成し、会員に限定し利用可能にします。現在、HP 講座、ソフト、会誌バックナンバーのダウンロードを予定しています。(佐藤 俊光)

掲載しました。今後は、会員の皆様方の声を掲載したいと思いますので、気軽にご意見ご感想など編集局に頂ければ幸いです。(岡田 明男)

全国循環器撮影研究会だより (No.1)

発行日 平成 13 年 6 月 20 日
 発行責任者 江口 陽一
 事務局 東北大学医学部附属病院 放射線部内
 全国循環器撮影研究会 事務局
 〒980-8574 仙台市青葉区星陵町 1-1
 Tel 022-717-7418, Fax:022-717-7430
 編集 岡田 明男

? 編集局より

- 第 13 巻会誌の訂正のお願い -

目次

課題研究 “簡易 I.I.Gx 測定方法の考察について” の執筆者村川 圭三氏を村上 圭三氏と誤った表記をしてしまいました。大変申し訳ありませんでした。村川 圭三氏に訂正お願い致します。

- 会員名簿の訂正のお願い -

会員番号 741

板原 広史氏の住所の訂正をお願い致します。広島市中区基町 9-13 を 7-33 に変更お願い致します。

- 会員が得られる情報の不公平差の是正 -

インターネット (e-mail) を利用されていない会員の方々も多くおられるものと思われます。その会員の方々が、インターネットを利用されている非会員の方よりも情報が得られないという不公平差を少なくするために、年に 4 回程度 (春夏秋冬) 郵送でホームページ (e-mail) の情報や事務局からの連絡事項等を全会員にお送りしたいと思います。(岡田明男)

編集後記

今年 4 月に東京から事務局移転に伴い、年 4 回 (春夏秋冬、3 月、6 月、9 月、12 月) の “全国循環器撮影研究会だより” を発行することになりました。会員の皆様に研究会の情報や事務局からの連絡事項、ホームページの掲載内容等を的確に伝えられたらと思っております。今回は、事務局移転に伴い新旧会長、新旧事務局長の挨拶、事務局の自己紹介をメインに



昇る星と蔵王のお釜